

実りの秋！コロナ禍から復活する次の一手を。



プロフィール

- 1994年3月23日生まれ
- 広陵西小/広陵中/畝傍高校/大阪大学法学部
- 2016年ITベンチャー企業(株)エクス入社
- 2019年First Step開業(主にIT事業を手掛ける)
- 2020年広陵町議会議員選挙初当選

27歳 最年少広陵町議会議員

ちぎた 慎也

もくじ

- 9月議会の概要
- 一般質問の詳細
- 決算審査について
- 町内企業のIT化を支援!
- 1人1万円の特別給付金実施!
- YouTubeでも発信中!
- ティートーク

↓ SNSでも発信中! ↓



9月議会(定例会)の概要

スケジュール

- 8月26日 全員協議会
※予算案や条例改正案等の議案について役場から議会への説明
- 8月30日 質問通告締切
※一般質問の質問内容を議会事務局に提出する期限
- 9月 7日~21日 本会議
※初日に議案の趣旨説明が行われます。議案の説明の後、各議員からの一般質問となります。一般質問の後、各委員会にて議案を審議し、最終日に採決を行います。

ちぎたの一般質問

- 質問1 広陵町の公共施設に関する計画について
- 質問2 現役世代へのワクチン普及戦略について問う

詳細は下部に記載

10月には衆議院選挙が実施されました。今回の総選挙で印象的だったのは、SNSの活用、特に動画の活用でした。コロナ禍での選挙だったということもあるでしょうが、政治家からみなさんへ政策や想いを伝える方法が大きく変わる節目の選挙だったように思います。

今回の選挙で、それぞれの候補が趣向を凝らした様々な動画を作成されていたので、私も参考にさせていただいて、自分の情報発信に取り入れていきたいと思えます。

また、情報を伝える、という観点では、行政からの情報発信にも参考になる点があると思えますので、そちらもあわせて提案していきます。

一般質問

広陵町の公共施設に関する計画について

ち) 高度経済成長期にたくさんの施設が建てられたが、時代に合わせて変化することが求められている。中央公民館については、建て替えという方向で検討が進んでいるが、く体はまだ使用できる状態で、今の機能のまま建て替えることには合理性がないように感じる。建て替えるのであれば、時代に即した機能を追加したり、複合化したりする必要があると思うがどうか。

回) 多機能化や複合化をしつつ、建て替えを進めていきたい。

ち) グリーンパレスは当初「働く婦人の家」として建設されており、その用途から外れた使い方が難しいと認識している。そこで、例えば、女性のIT起業家を支援する施設として活用することはできないか。町内のIT人材は不足しているし、グリーンパレスであれば、ビジネスセンターのKoCo-Bizもあるので相性がよい。

回) 指定管理者と共に検討していきたい。

質問全文



現役世代へのワクチン普及戦略について問う

ち) コロナの収束には現役世代へのワクチン普及が不可欠だが、接種率の目標と普及のための戦略は。

回) 20代~30代で60%を目指したい。空き状況があれば、HPやLINEなどで呼びかけていく。

ち) 接種率の向上策はしっかり検証し、改善を重ねて欲しい。また、接種年齢の引き下げ、3回目接種や交差接種などに対応する準備はあるか。

回) 国などから具体的な対策が示されていないので、対応は模索中。

決算審査

町ホームページの改善について

令和二年度のHPのトップページへのアクセス数は76万件強(令和元年度は48万件弱)とのことでした。

しかし、これはみなさんがコロナの情報を得たかったから、という理由が大きかったと思います。今後の改善策として、①滞在時間やページの離脱率など定量的な数値を用いて改善を図ること、②HPは町外へ向けての情報発信ツールでもあるので、どこからアクセスがあったかも踏まえ、対外向けのページは対外向けに改善して欲しい、と要望しました。

はしお元気村について

約2,000万円をかけて、はしお元気村が改修され、今年の4月にマルシェとしてオープンいたしました。

マルシェでは地場の野菜などが販売され、賑わっているようです。



YouTubeでの活動報告の際には、その時点での売上状況などもお伝えしたいと思います!

奈良モデルの活用!

広陵町の古寺にあるクリーンセンターは、2022年に操業を停止し、その後は奈良県下10市町村による広域でごみ処理を行っていくことにな

っております。この広域化は、「山辺・県北西部広域環境衛生組合」を事業主体として進めておりますが、この業務の一部に「奈良モデル」による補助金がついております。広域化を進めつつ、うまく補助金を活用していきたいですね。

↓新施設の完成予想図

↓広陵町役場に掲示されています



なりわい大活躍!

ふるさと納税の合理化

令和2年の5月から、ふるさと納税の管理業務を広陵町の地域商社「なりわい」に委託しています。なりわいに委託することで、出店できるポータルサイトが増え、ふるさと納税額の増加につながったようです。

また、なりわいが事業者さんへのふるさと納税品の提案やコラボ商品の開発を行うことで、納税額の増加にもつながっているようです。

ふるさと納税は自由度が高い財源なので、さらに力を入れていきたいですね。

KoCo-Bizにより、

メディア露出機会向上!

2020年の12月に立ち上がった無料のビジネスセンターサポートセンターのKoCo-Bizですが、具体的な成果も出てきているようです。

例えば、雑誌やメディア等に取材されたり、クラウドファンディングがうまくいったりしているようです。また、サポート対象地域も三宅町・御所市・葛城市と広がったようです。

引き続き事業者様のサポートをしていただくとともに、地元での創業支援も期待したいところですね。

事業者・生活支援!

●広陵町中小企業・小規模企業デジタル化推進補助金

11月頭に町内事業所のデジタル化を支援する補助金が出されました。予算はあまり大きくありませんでしたが、枠が一瞬で埋まりました。デジタル化を進めたいと考えている事業者が多いことが分かります。

●広陵町生活支援特別定額給付金(1人1万円給付)

〆切:令和4年1月31日

申請:同封の返信用封筒で返送

詳細は町HPをご確認ください。

YouTubeでも発信中!

活動報告会



視聴は→
こちら→



2021年12月4日(土)19時~20時

チラシの内容・時事問題・最近の活動等をお話します。アーカイブも残します!コメントお待ちしております!

広陵で働く!



視聴は→
こちら→



広陵町で働く若手を取り上げる新企画がスタートしました!取材可能な方いらっしゃいましたらご連絡ください。

チギトーーーク

昨年と打って変わり、今年は立派な稲穂が各地で実り、見ていると心が温くなりました。一方で、コロナによる、企業活動や住民生活へのダメージは昨年よりも深刻に感じます。

私が所属している、葛城青年会議所では、地域を元気にするため「バイローカル(地域で消費しよう)」というコンセプトを掲げ、葛城地域内の5カ所でドライブスルーでの物産の販売と地域のお店を取りまとめたマップの作成を行いました。広陵町から給付される1万円もぜひ地元で使ってみてください。近くの素敵なお店が見つければ、それが地域のためにもなります。